

	<p>発行所 〒921 8116 金沢市泉野出町3丁目10 10 石川県立金沢泉丘高校内 一泉同窓会 電話(076)242 0211 FAX(076)242 0211 2005.3.31.発行 E-mail: issen.knz@hotmail.com</p>	
---	--	--

## 新会長に蚊谷氏(泉丘<sup>14期</sup>)を選出

平成16年度一泉同窓会総会に770余人

平成16年度の一泉同窓会総会と懇親会(創立111周年記念)は10月15日午後6時から、金沢全日空ホテルで開かれた。今年度は泉丘23期を中心とする実行委員会の努力で770余人が出席、新たに蚊谷八郎会長(同14期)を選出するなど順調に議事進行、懇親会も大いに盛り上がり同窓の絆を深め合った。

小倉周一郎会長に代わって水谷昭副会長があいさつ、4230万7371円に上る110周年記念事業、15年度決算報告などがいずれも満場拍手で可決承認された。審議の最重要事項は、任期満了による小倉執行部の退任と新役員の選出。事務局を含め12人の役職員のうち新任7人、留任5人の新執行部が誕生した。

続いて今春就任した上田政憲校長が母校の近況を報告、在校生初出演の合唱部員約20人が全日本合唱コンクール中部大会金賞受賞の歌声を披露した。

### 御陣乗太鼓で懇親会幕開け

続く懇親会は石川県無形民俗文化財の御陣乗太鼓で幕を開けた。荒川宏さん(一中45期)の乾杯の音頭で杯を酌み交わすと座は一挙に盛り上がった。歓談はいつまでもつきなかつたが、例年のごとく応援歌などを合唱、同期生同志、先輩と後輩がまたの再会を約束しあって散会となった。

### 役員改選、新任は7氏

新役員は次の皆さん(印は新任)

▷会長 蚊谷八郎(泉丘14期)▷副会長 普神貴行(一中56・泉丘2期) 水谷昭(泉



丘7期) 泉屋利郎(同14期) 小堀幸穂(同17期) 清水義博(同22期) 近藤勝則(同31期) 中村太郎(同35期) 村本喜和子(同通信28期)▷監事 奥田徹(泉丘6期) 笠置研一(同11期)▷事務局長 中山一郎(同10期)

### 厳粛に物故者慰霊祭

一泉同窓会の総会に先立ち、10月15日午後3時から母校の厳霜碑前で物故者慰霊祭を行った。今年の出席者は23人。石浦神社の長谷勝俊宮司の祝詞に続いて一同、同じ学び舎で過ごした今は亡き師を友を祀った。15年戦争で国事に殉難した仲間を持つ一中の先輩は、特に思い入れが深い。毎年必ず出席される一中40~49期の大先輩10人余。この年代では、各期1割強の20人を超える友を敗戦直前の1~2年の間に失った。南の島の玉砕、特攻隊での突入、終戦直後に責任を感じての自裁...。語り出せば若い身空で国に命を捧げた友を思い、言葉を失う人ばかりだった。

## ごあいさつ

かたにはちろう  
一泉同窓会会長 蚊谷八郎

一泉同窓会の皆様には日頃、会の運営に何かとご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。この場をかりて心からお礼を申し上げます。

私はこのたび平成16年度の一泉同窓会総会において、小倉前会長より次期会長を拝命いたしました。多くのすばらしい諸先輩のおられる中で、次期会長のご指名を頂き誠に恐縮しておりますが、会長にご承認賜りました以上、一泉同窓会の名をけがすことなく一生懸命お世話をいたしたく努力して参りますので、皆様におかれましては今まで以上にご支援ご鞭撻のほど、よろしく

お願い申し上げます。

さて、ご承知の通り一泉同窓会は通信制も含め一中、泉丘の卒業生約27,000人を有し、国内外に優秀な人材を配しております。全国に8支部の同窓会があり、就任早々の私も関東と松任の一泉同窓会にご招待を賜り出席いたしました。それぞれ同じ志で昔を懐かしみ、心を通じあう姿が強く印象に残りました。そして今、このすばらしい出会いの場である同窓会をさらに盛りあげ、ますます発展させて参りたいと心あらたに決意いたしております。今後とも会員の皆様方のお力添えを賜りますよう今一度お願い申し上げます、ごあいさつといたします。



### 地区・職域同窓会だより

#### 04関東一泉同窓会総会・懇親会

#### 新会長に浅井氏、副に糸多氏

04関東一泉同窓会総会は10月2日、東京・千代田区の如水会館で約280人が出席して開かれた=写真=。金沢からは蚊谷八郎新会長、上田政憲校長ら5氏がかけつけ祝福した。

今年のテーマは「どきどきドーキ同窓会」。一人でも多くの参加を促し、二次会までゆっくりと年代を超えた交流が図れる有意義な集いにしよう - との配慮から、土曜日の午後3時開会となった。総会では河毛二郎会長（一中43期）と宮川隆泰副会長（同54期）の死去に伴う役員改選で、新会長に浅井敏郎氏（同50期）、同副会長に糸多宗人氏（同54期）を選出した。浅井会長は就任あいさつで「一中精神の継承」を訴えとともに、「母校への恩返し」への協力を呼びかけた。

続く懇親会では「金沢どうなってるがや」のビデオ放映、金沢弁の思い出タイムもあり、故郷と母校への思いを新たに。最後に一中、泉丘の校歌を斉唱、幹事の25期の努力に感謝して閉会した。



その他の役員は次の皆さん。

▷副会長 大西忠（泉丘10期） 村上与恵（同12期） 宇野明美（同23期）▷監事 西島幸夫（同9期）▷監事兼事務局長 山下哲之（同22期）▷顧問 高浪克子（同4期）

#### 第24回関西一泉同窓会

#### 抽選で氷室まんじゅうも

第24回（平成16年度）関西一泉同窓会は例年通り6月第1土曜日の5日、大阪市城見のパノラマスカイレストランアサヒで100人余を集めて開かれた=写真次頁上=。金沢からは普神、水谷副会長、正村事務局長、ご招待恩師の化学・山崎裕先生が出席された。

会長の片瀬貴文氏（一中55期）は中央復建



コンサルタンツ社長を退任、現在はNPO 老人フォーラムを立ち上げ、パソコン、ブリッジ、シャンソンなど5つのコースとサロンで元気老人を増やそうと奮闘中とのこと。本部からの水谷副会長は110周年記念タオルを手土産に、記念事業のお礼を述べた。高齢ながら元気な山崎先生はボケない5カ条として感動・興味・健康・工夫・恋を披露された。

会は宮本晴江さん(泉丘13期)と山本和幸氏(同46期)の司会でスムーズに進行。抽選で金沢からの氷室まんじゅう30折、洩れた人は円八あんころやふるさとの菓子に大喜び。一中43期の長岡寛厚氏の踊りつき「金沢の女」が会場雰囲気や一段と盛り上げ、最後に一中、泉丘の両校歌を合唱した。二次会は松尾ゆきえさん(通信12期)経営の北新地のバー「珠洲」へ。30人余りが参加、大盛況だった。

16年度三馬一泉同志会総会

### 松下良氏の講演を聞く

三馬一泉同志会の平成16年度総会は6月30日、金沢ニューグランドホテルで26人が出席して開かれた。

総会に先立つ恒例の講演会、今回の講師は松下良(松下種苗店会長(一中53期))。演題は「金沢、粹な歳時記」。かつて村松友視の短篇小説『闇笛』に登場する、得体の知れぬ金沢の風流な老人のモデルとなった人だけに、金沢町民の生活文化の実体験を通じての流暢な話は、錦絵を見ているよう。伏見川の屋形舟で三弦の音に浮かれた花見、高張り提灯を掲げての夜の婚礼行列、米こうじをふんだんに使った漬物文化、大乘寺山までのスキー遠

足の後、小学校で出してくれたメッタ汁の味など、1時間にわたった。

総会では杉村靖夫会長(一中58・泉丘4期)があいさつ、滞りなく議案を審議、続く懇親会では応援歌を高らかに歌い、時間のたつのも忘れて歓談した。

松任一泉同窓会が16年度総会

### 白山市になっても継続を

平成16年度松任一泉同窓会の総会が11月6日、グランドホテル松任で67人が出席して開かれた。あいさつに立った板尾達雄会長(一中54期)は「17年2月に松任市と石川郡の2町5村が合併して白山市となるが、来年以降も松任一泉同窓会を続けていきたいと考えている」と述べた。

続いて来賓紹介があり、新しく一泉同窓会長に就任した蚊谷八郎氏が「同窓の絆を深め、会の発展に努める」と決意を込めてあいさつ、上田政憲校長が野球部の活躍などを披露しながら「文武両道の泉丘となりつつある」と母校の現況を報告した。



恒例となった勉強会は、鶴来町のスカイ獅子吼支配人・紺清美千子さんを招いて「獅子吼高原に魅せられて」と題する講演を聞いた。紺清さんは「合併によって皆さんの観光資源の一つとなる獅子吼を理解し、応援してほしい」と説いた。出席者も合併する地域を理解するため、熱心に耳を傾けていた。

記念撮影の後は懇親会で、一同大いに盛り上がった。ビンゴゲームでは大小さまざまな景品が準備され、どれを選ぶかと迷う姿に会場は大爆笑。先輩、後輩の垣根を越えた酒のつぎ合いと懐かしい話で、ほんとうに楽しい時間をすごした。(泉丘42期・松本雅治記)

## 県庁泉丘同窓会が幹事会

県庁泉丘同窓会は県議会議員と県職員で構成しており、年に1～2回幹事会を、3～4年に一度総会を開いている。先の総会は平成14年1月に開催した。現在のメンバーは議員が木本利夫、広岡立美、紐野義昭、下沢佳充、粟貴章の5氏。執行部は寺西盛雄出納長(10期)を先頭に、約420人を擁する大勢力。議員と出納長、部長・次長級職員で幹事会を構成している。



近況としては、さる2月22日に上田政憲校長を招いて16年度2度目の幹事会を開いた＝写真＝。20人が出席、校長から母校の様子を聞いた。幹事一同、昔日の青春時代の思い出話に花を咲かせ、母校の発展を願い、さらなる支援を誓い合った。(16期・照田繁隆記)

## 北電一泉OB会が総会

北陸電力一泉OB会(酒井浩代表幹事・泉丘4期)の第5回総会が2月15日、湯涌温泉の「あたらしや」で開かれた。1年8ヵ月ぶりであり11人が出席、今後は「毎年開催」を決めた。

同社には北陸電力一泉会があるが、平成6年2月に定年退職者でOB会を組織化、現在の会員は37人。同日夜は応援歌や一中、泉丘の両校歌を歌って青春を謳歌した。

## 元気です!(各期の集い)

関東十桜会(一中42期)春季会合

金沢一中42期の第5回関東十桜会春季会合が16年5月31日、東京港区の明治記念館内レストラン「羽衣」で開かれた。

出席者は久保木信夫、坂部重之、清水昇三、鳥居忍、中谷郁夫、氷田作治、松田通世、松本順、山本欽一、古澤英雄、久保田全俊の11人。今回は上島兄が所用で金沢へ、八百兄が急に心臓を傷めて欠席となった。氷田兄が娘さんの介添えで車椅子、清水兄が逗子から痛い足を引きずって出席してくれたのがうれしかった。会員22人のうち石田勝雄兄、中野二郎兄が亡くなり、20人になった。

当日は昼食後に写真撮影し、さらに記念館ロビーに移り1時間ほど懇談した。

最後の関東金沢一中43会例会

関東金沢一中43会の例会は平成16年10月26日、東京駅大丸内の金城楼で島誠夫、藤田正辰、山田義男、

吉村清三、長岡寛厚の5人が集まって開き、加賀料理を味わいながら長寿を祝いあった。



例年、京都在住の長岡氏の上京時を待ってクラス会を開催していたが、長岡氏参加の戦友会が宮城県の松島瑞巖寺で会員高齢化のため解散式を行い、今後毎年の定期的上京が無くなったのと、関東43会も米寿を迎えた老人ばかりとなり、まことに淋しくなるが、定期的会合は断念することにして散会することになった。

プラスαのお手伝い。  
ここから快適な暮らしが生まれます。

代表取締役  
瀬澤 幸利(泉丘19期)

株式会社 金沢商行

〒920-0025 金沢市駅西本町6丁目2番3号

[セメント建材部]TEL 076 223 1155 FAX 076 265 6505

[住設建材部]TEL 076 263 0336

## むらた小児科医院

医学博士 村田 祐一(泉丘19期)



〒920-0341 金沢市寺中町ト5番地

TEL (076) 268-8688

FAX (076) 267-9338

一中50期生(昭和18年卒業)長浜に集う  
平成16年度の総会は10月26、27日、1泊2  
日の日程で滋賀県長浜市の料亭「浜湖月」で  
20人が出席して開かれ、元気で再会できたこ  
とを喜び合った。

西坂会長があいさつ、太田君が10月15日の  
一泉同窓会総会の模様を報告、新会長に蚊谷  
八郎氏が就任したことや、同期の浅井敏郎君



が関東一泉同窓会会長になったことが発表さ  
れた。続く懇親会では皆久しぶりの歓談に余  
念なく、隠し芸の披露もあって傘寿と思えぬ  
元気でおいに盛り上がった。翌日は「琵琶  
湖・竹生島めぐり」と「長浜城・彦根城観  
光」の2コースに分かれて近江の国の観光を  
楽しんだ。

出席者 浅井敏郎、市野孫之丞、大滝善  
次、大森三郎、太田重雄、改田直己、小堀外  
茂次、橘喬、寺田猛、中村成重、西坂弥三郎、  
新田史郎、野村庄一、松江重隆、宮村孝夫、  
宗守弘雄、室賀共、安田俊男、横川政治、吉  
岡外美雄 (宮村孝夫記)

和倉温泉で一桜会(一中51期)同窓会

平成16年5月27日、和倉温泉ホテルたな嘉  
で1泊、23人が出席した。宮林和彦代表幹事  
の司会で新物故者6人(戸部、森、伊藤、中  
島、中村、荒野)が紹介され、総数101人の

物故者の冥福を祈った。

続いて宮太郎会長があいさつ、西川忠関東  
地区代表の乾杯の音頭で酒宴に入った。宴は  
お互いを懐かしみ、往時を偲ぶ談笑、隠し芸  
も飛び出してアツという間の2時間余だった。  
フィナーレは応援歌を合唱、宮野良雄関西西  
地区代表が締めくくった。翌朝食後、来年は辰  
口温泉で「傘寿を祝う同窓会」を開くことを  
決めた。

また、時代小説家で直木賞候補にもなった  
戸部新十郎君の追悼展がちょうど金沢で開催  
中であり、多くの同窓生が会場を訪れた。

泉三会(泉丘3期)が53周年全国大会

平成16年8月1日、金沢スカイホテルで恩  
師の高松吉郎先生を迎え、約50人が出席して  
開いた。神尾茂子会長、井波外志雄副会長が  
あいさつ、物故者に黙祷をささげ、叙勲を受  
けた古村澄一、土田栄作、徳久和夫、砂山巖  
(当日欠席)の4氏の功績を披露し記念品を  
贈った。

松村晴夫氏が開宴のあいさつ、大竹春生氏  
がプロジェクターで「戦後50年・変貌する新  
生都市金沢」を紹介した。酒宴では同窓生の  
近況報告などが行われ、青春時代の話に花が  
咲き、校歌・応援歌の合唱で一段と盛り上が  
った。徳久氏の音頭で万歳を三唱、なごり惜  
しみながら終宴した。



SPACE CREATE

**KATO**

株式会社 **カトー**

イベントディスプレイ  
店舗、住宅のリフォーム

代表取締役社長 **加藤英資**(泉丘19期)

本社 〒920-0062 金沢市割出町606-1  
TEL (076) 237-5458 FAX (076) 237-8233

皮膚科・泌尿器科

**中嶋医院**

**中嶋和喜**(泉丘19期)

〒921-8111 金沢市若草町2番35号  
TEL (076) 241-7717・241-2528

### 泉丘 6 期が卒業50周年記念同窓会

泉丘 6 期卒業の「ふくせん会」が16年11月 11、12日、和倉温泉「のと楽」で卒業50周年記念同窓会を開いた。男77人、女55人に恩師の水田清風、松田春海、浜名久雄、清水隆久、橋本秀一郎の五先生と合わせて137人出席の大盛会となった。

入学した昭和26年といえば、対日講和条約の調印、朝鮮戦争特需などで、ようやく日本が独立の道を歩み出したころ。その後、今日までの50年は世の中のパラダイムが次から次へと変化を繰り返す時代で、卒業後、職業を幾度か転じた同期生が多かった。

それだけにこの日の総会は感慨もひとしお。元北陸放送アナウンサーの福田政博君が司会を務め、まず鬼籍に入った39人の同期生の冥福を祈って黙とう。次いで新会長の辻貞夫君があいさつ、「古希を目前に思うに、心が老いることなく、さらに夢を追いかける元気を持とう。その為にも互いに声を掛け合って進



もう」と呼びかけた。恩師を代表して松田先生が「これからは健康と人と人とのふれあい」が大切だ」と訓示された。

村上信吉副会長の乾杯の発声で宴に入ったが、「卒業以来、会うのが初めて」という人も多く、近況を交えながらの友情の輪を広げた。話題は尽きることを知らず、合間をぬって藤井士朗君のギター、向川保君のコントラバスでナツメロを合唱、青春時代が甦るひと時だった。「来年は古希、また集まるぞ！」再会を約する節目の総会だった。(白井記)

## トピックス

## 応援団旗を返還

泉丘 6 期の渡辺さん

昭和28年夏、泉丘高校野球部は青年監督吉本明(通称サンペイ)先生に率いられて甲子園出場を果たし、初戦は4対1で八日市高校に勝ち、2回戦は8 - 15で土佐高校に負けた。

この時振られた応援団旗を、当時副団長だ



った渡辺正朗(泉丘 6 期)氏が、同期の出野

のを機に、返還を思いたったという。

慧、初道茂樹、高波之雄氏らとともに昨年11月12日、母校を訪れて学校に返還、山下一夫(泉丘19期)教頭が受け取った。

渡辺氏は「人生で一番楽しかった高校時代の思い出の品」として50年間にわたり自宅に飾り続けてきたが、卒業50周年の記念同窓会が和倉温泉で開かれた



## やなぎだ眼科

院長 柳田 隆 (泉丘19期)

金沢市石引 1 17 5 TEL (076) 265 3003

http://www.kma.jp/yanagida/

## 前多社会保険労務士事務所

代表 社会保険労務士 中村 ゆかり (泉丘19期)

〒920 0931 金沢市兼六元町 3 番64号

TEL 076 - 232 - 1871

FAX 076 - 232 - 1814

## 泉寿会(泉丘10期) 活発に活動

泉丘10期卒業の泉寿会(亀田亮彌会長)はこの1年、活発に活動した。16年8月27日、山中温泉「花つばき」で総会・懇親会を開催、42人が参加して高校時代を懐かしんだ。当日は近くでゴルフコンペ(10人参加)を行い、翌28日は福井県の永平寺、平泉寺(23人参加)方面を観光、別れを惜しみながら散会した。



さらに今年2月19日に恒例の新年会=写真上=を金沢市のエクセル東急で開催、関東、関西の遠来組10数人を含め62人が出席した。宴に先立ち黄綬褒章受章の越野宗郎、亀田亮彌君、法務大臣賞に輝いた若林茂樹君に女性陣から花束を贈った。役員改選では次期会長に若林君、副会長に笠間晴隆君を選出した。

一方、関東泉寿会(大西忠会長)の新年会は1月30日、東京・錦糸町のロッテ会館で45人(金沢から7人、関西から2人)が出席して開いた=写真下=。恒例のピンゴゲームは故郷の名所・地名など懐かしい名前を引用したシートで行い、全員童心にかえたよう。同会館内での二次会、街へ流れての3次会と楽しい新年会となった。

また関西泉寿会(堀内寛司会長)は昨年6月20日、京都府山崎の天王山方面への小旅行を行った。22人が参加、サントリーなどの工場見学の後、近くの割烹で懇親を深めた。

## 40年ぶりに「浜ちゃんルーム会」

一昨年の一泉同窓会の席上、我々泉丘16期生3年4ホームの仲間の林敏郎君から「全体



の同窓会もいいがクラス会をやろう! 武生、企画してくれまんな」と頼まれた。なんとなく仕事にかこつけ怠慢をしていたところ突然、昨年の1月25日、その林君が他界した知らせがあった。とても残念の思いで彼の要望をかなえよう - と11月27日、同級生の中村義朗君が支配人を勤めるNTT山中温泉保養所で、恩師浜名久雄先生(79歳)を迎えて「浜ちゃんルーム会」を開催した=写真右上=。

クラスメート42人中17人(うち女性5人)が40年ぶりに再会、林君の奥様からお借りして来たありし日の林君の写真に向かって黙祷し、彼の冥福を祈った。我々の時代は創立70周年の年であり、野球部は甲子園へ、バスケットはインターハイに、相撲の能上宏君が個人優勝を果たすなど、まさに文武両道。懐かしい思い出話で一夜を明かした。(山本武生記)

## 泉丘20期の集い、62人が参加

昭和43年3月卒業の泉丘20期の集いが8月8、9日、白峰温泉「ホテル八鶴」で開かれた。久しぶりの開催とあってアメリカのシアトルからの友や、白山登山を兼ねてなど男51人、女11人の総勢62人が集まった。来賓として楠禎一郎、北木邦男、普神貴行の3先生にも出席いただき、懐かしさと楽しさにあふれる白山麓での集いとなった=写真右下=。

温泉の料理も好評で、次回も温泉でとの要望が多く、3年後に湯涌温泉でさらに盛大な集いを開くことを確認した。(西川孝蔵記)





## おめでとう「一泉賞」

平成16年度の「一泉賞」に7人が決まり、さる3月4日の全日制、13日の通信制卒業式に先立って蚊谷八郎一泉同窓会長から各人に賞状、トロフィー、1万円分の図書券が贈られた。

同賞は在学3年間を通じ、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られるもので、平成6年度に一泉基金事業の一つとして設けられた。

受賞者は次の皆さん

奥村麻耶 女子バスケットボール部主将。  
2年生から国体チームメンバーに抜てきされ、3年の埼玉国体で5位入賞。

細川陽、高畠慎平、杉下晃介 将棋部員の3人は1年生から各種大会で活躍、2、3年では全国高校将棋選手権の石川県大会男子団体2連覇を成し遂げた。

小林秀成 化学部で熱心に研究に打ち込み、各種コンクール知事賞や環境大臣賞に輝き、学習成績、人間性にも優れる。

山口裕大 クイズ研究同好会に所属し、テ

レビ局主催のクイズ番組で全国5位となり、金沢泉丘の名を高めた。

野尻国夫 昭和51年に通信制課程に入学したが仕事との両立が難しく除籍、平成14年に再度編入学、晴れて卒業を迎えた。61歳。

## 一泉基金を活用して 30教室に冷暖房設置

一泉創立100周年の寄付金を基に設けられた「一泉基金」を活用して昨夏、普通教室30室に待望の冷暖房装置が設置された。夏休みや冬休みの長期休業期間中に活用されるもので、さっそく昨夏の夏季補習授業で生徒たちに快適な学習環境を提供した。

ベランダに設けられた大型エアコンによって教室内を冷暖房するもので、学校が集中管理、室温が摂氏28度以上になると冷房、18度以下になると暖房が自動的に行われる。5業者から見積を取り、最低見積価格提出の北菱電興からさらに再見積書を徴収、総工費3500万円で契約した。6月に工事発注、同社の努力で7月からの使用開始となった。

泉丘高校PTAはかねてから教室の冷暖房を計画していたが、3500万円にも上る多額の借入金や、その利息等で難航していた。そこで一泉同窓会は、母校の教育振興のために設けた一泉基金を活用し、一日も早い冷暖房装置の設置を図ることにした。

PTAではこれに報い、一泉基金の名目で生徒1人当たり年間5000円を徴収、350万円ずつ10年間積み立て(残りは電気代など維持費)、10年後の機器更新に備えることにした。

不動産表示登記・敷地測量・境界鑑定

市村土地家屋調査士・  
行政書士事務所

市村孝一 (泉丘20期)

〒920 0941 金沢市旭町3丁目13番10号  
旭レジデンス1F

TEL 076 261 6795  
FAX 076 261 6766

E-mail: cello13@spacelan.ne.jp

加世多皮膚科医院

院長 加世多 秀範 (泉丘20期)

〒920 1187 金沢市もりの里3丁目7

TEL(076) 234 0050  
FAX(076) 234 0150

歯科・小児歯科・矯正歯科

加藤歯科医院

院長 加藤 成俊 (泉丘20期)

金沢市森山2丁目23番17号

☎ 076 252 4182



## 文化・運動部 OB 会だより

## 血気盛んな泉泳会・大活躍

平成16年11月28日、バルセロナ及びアテネオリンピック背泳ぎ出場の稲田法子選手=写真左から3人目=をゲストに迎え、野々市町スポーツランドプールで、第11回石川県マスターズ水泳選手権大会が行われた。

泉泳会と言えば、泉丘水泳部OBが連綿として活躍を続ける一泉会きっての運動クラブと言っても過言ではない。会長の向川勇氏(金沢一高)もかくしゃくとして50M自由形に出場するという、とんでもないクラブである。



特に4人の合計年齢が240歳以上の200Mリレー、同メドレーリレーでは、ともに県優勝を果たし、「泉丘ここに有り」と誇ることができた。平均60歳を超えるメンバー4人以上、しかも身体の衰えを知らない壮健な者ばかりを揃えられるチームは、石川県内でも特筆されるすばらしいチームである。

さて、ゲストの稲田さんは小さいころ、ぜん息だったとか。それを克服するため水泳を始め、12歳でバルセロナに出場、シドニーを経て26歳の昨年、アテネで100M11位(準決勝)だった。彼女の50M背泳ぎのタイム28

秒62はいまだに日本新のままである。その素晴らしい泳ぎを目前にした感動は、大会参加者にしか味わえなかったと思う。

急がず、慌てず、無理なく、一筋の線の如く、滑るように泳ぐ(生きる)。彼女から人生のこんなメッセージを贈られた感じがしたのは私一人ではなかっただろう。

私たちの泉泳会は、水泳部OBに限らず、泉出身者ならいつでも、いくつになっても、どんなに泳ぎが下手でも仲間に迎えている。今後、泉泳会は健康増進の一翼を担うために泉の卒業生ならだれにでも門戸を開いた、気楽なサークルとして発展をめざすことにしている。(泉丘8期・福田太睦記)

## 陸上部OBが20周年祝う

泉丘高校陸上部OB会の16年度総会・懇親会は7月17日、金沢ワシントンホテルプラザで開かれた。今回は「会結成20周年を祝う会」と位置づけ、35人が参加した。

木本利夫会長(16期・県議)のあいさつに続いて、今年の県高校総体男子110MHで優勝した大蔵崇史君(2年生)など、現役部員の活躍ぶりと今後の競技日程が紹介され、応援に出かけることを申し合わせた。特に高校駅伝の県予選では、常に上位に入賞しながら県代表の座を逃していることについて、「ぜひ代表に-」と期待の声が大きかった。席上、会員で筑波大の斎藤慎一教授の訃報(4月24日逝去)が伝えられ、冥福を祈った。

懇親会ではそれぞれの近況を報告、思い出話に花を咲かせた。また、長年、事務局として会の世話を続けて来た山下一夫氏(19期・泉丘高校教頭)に対する感謝の言葉もあり、17年度の再会を約束して散会した。

## 敦賀法律事務所

弁護士 敦賀 彰一(泉丘20期)

事務所 金沢市尾張町1丁目5番25号  
TEL(076)261-8500  
FAX(076)261-7300

## 漆器の能作

社長 岡 能久(泉丘20期)

専務 海道正人(泉丘20期)

本店/金沢市広坂1-1-60  
☎263-8121(代)  
百番街店/金沢市広岡口1(金沢百番街)  
☎223-0241

## R 芳野会計グループ

飛 コンピュータ会計  
芳野和夫税理士事務所  
(株)芳野経営プロジェクト

代表取締役  
税理士 芳野 和夫(泉丘20期)  
〒927-0553 石川県鳳珠郡能登町字小木11-14  
TEL0768-74-0043 FAX0768-74-1484  
e-mail: yoshinokaikeigroup@tkcnf.or.jp



## 独創的な作品並ぶ 第32回一泉桜美会美術展

第32回一泉桜美会美術展(本展)は、平成16年10月19日から26日まで、金沢市のラプロ片町アートシアターいしかわで開かれ、独創的な絵画や写真、書、工芸などの作品51点が来場者の目を楽しませた。

会場には乗鞍高原の初秋を色彩豊かに描いた「雲は湧く」や、ナスが円卓を囲んでいる

美の同窓会・一泉桜美会は、美術展、小品展のほか、年中行事として毎年10月ごろ、スケッチ旅行をしております。ここにまとめたのは、私が宮澤先生から代表幹事に強制任命されてからの、スケッチ旅行スナップです。

× ×

94年 柴垣。みなさん飲みすぎて予算オーバー。山川孝さん(一中49期)が額を描かれて臨徴御免。

95年 富来。地元名士の差し入れで満足、満足の親睦宴。

96年 紅葉の有峰湖。  
くねくね道は工事中。石田直行

会長(49期)もう二度と来んぞ!

97年 白馬村。何回か来ている先輩、プチホテル経営の若夫婦に「可愛い、可愛い」と、デロリン。

98年 生地温泉。栗野利雄先生(40期)令息の病院で、美味なる昼食をいただき、夜の宿では老妓の歌舞いで先輩、青春の血、再燃の姿を視た。

99年 小浜。古寺、古仏、博物館と教養度満点だったが、マイカーのトラブルが2、3件あり、以後スケッチ旅行

は貸切バスとなりました。

2000年 近江八幡。水郷めぐり和船、コスモス咲き乱れて情緒満喫。

01年 輪島崎。漁港スケッチ、漆作家の工房訪問、蔵の宿、魚料理。全身が輪島...

02年 白峰。セミナーハウス望岳苑で白山を描く一人者・井田重男先生に、一泊のねんごろな指導を受ける。翌年、井田先生ご逝去、ご冥福を祈る。

03年 能登島。北湾に面する宿で、大舟盛の魚、さかな、サカナ。一同サカナ。宮澤

さん、もう一泊でスケッチ。

04年 白川郷。菅沼合掌集落の大放水がある。2日間ピーカン。紅葉がまだ臉に焼きついている。

× ×

飲み、食いばかり目立つスナップになったようですが、スケッチ展をご覧になれば、スケッチ精進の成果が充分おわかりと思います。20世紀末ごろから女性会員の参加も増え、一段と和やかさが増してきました。

(藤井 肇記)

## 一泉桜美会スケッチ旅行スナップ

株式会社 **全国月の友の会**  
 代表取締役社長 **中嶋 潔**(泉丘20期)  
 〒607 8141 京都市山科区東野北井上町7 2  
 TEL 075 591 8171  
 FAX 075 594 1476  
 http://www.tsukinotomo.com

**中村小児科医院**  
 院長 **中村 英夫**(泉丘20期)  
 野々市町押野6 179 ☎076 294 3338  
 http://homepage1.nifty.com/nakamura/

タオル及び総合ギフト  
 Pinnacle. **白や** 株式会社  
 Dilex.  
 代表取締役社長 **小鍛治史郎**(泉丘20期)  
 本社 金沢市片町2 10 35  
 TEL 076 263 8331(代)  
 FAX 076 223 1783  
 東京・金沢・富山

「会議中」と題されたユニークな絵画、雄大な白山を撮影した「白山初冠雪」などの作品が並んだ。

また、春の小品展(第28回)は5月13日から18日まで、金沢市下本多町のエルフ金沢で開かれた=前頁写真=。会場には個性豊かな作品42点が飾られて来場者を魅了、訪れた同窓生同士が多彩な作品について語り合う姿も見られた。

今年の小品展 5月11日～17日

本展は 11月17日～23日

桜美会の幹事会がこのほど開かれ、05年の小品展を5月11日から17日までエルフで開催することを決めた。開期中の15日夕、ラプロ片町7階のアートシアターいしかわで総会・懇親会を開く。総会では新村健了前校長の講演が行われる。秋の本展は11月17日から23日まで同シアターで開く。

桜美会では会員多数からの作品出品と同窓生の鑑賞を呼びかけている。

## 最強を誇った一高時代

— 一泉ラグビー部史 —

ラグビーは突進の体力と連携の精神を養うスポーツである。それ故か、出身者には一業を創始し、一社を率いるものが多いという。残念ながら同部は昭和34年に廃部になったまま。しかし、一泉111年の歩みの中にはラグビーの光芒が放たれた時代がある。

× ×

金沢一中のラグビー部は終戦の翌年、昭和21年(1946)に当時の4年生(一中55期)の利岡正氏ら有志によって始められた。相撲、陸上部からも応援を得て部員数20人余。四高や金沢工専のグラウンドへ出かけて両校部員

から教えを受けた。県一の座を得たのは石川県のラグビー普及に情熱を傾注された森茂喜氏=写真下前列中央=の指導に負うところも大きい。

最強を誇ったのは一高時代である。昭和23年4月、学制改革で金沢第一高等学校が誕生、男子校となった一高へは一中、二中、三中のラグビー部員のほとんどが集まった。国体、全国高校大会とも北陸代表となって中部代表決定戦にまで駒を進めたが、全国大会出場の夢は果たせなかった。

泉丘になっての初期、昼食後の腹ごなしにラグビー部の面々が、運動場から第一体育館越えに中庭に向けてボールを蹴り込む遊びをしていたのを記憶しておられる方も多いのではなかろうか。泉丘になっての1年目、昭和24年度の生徒会予算の配分を見ると、ラグビー部は8万5千余円で、運動部の中では野球部に次いで第2位の高額を獲得している。一高の栄光を継ぐ証しでもある。

泉丘時代については4～11期の有力メンバー7人から、当時のヤンチャぶりの話を聞いた。中には富山県の進学校でラグビー部を指導、短時間練習のモデルをつくりあげ、全国大会出場6回の蔵谷慶八郎氏(10期)や、生涯現役で練習に励み、県全体のレベルアップをめざし各高校の指導・助言に奔走している井波豊英氏(11期)がいる。



## 金沢泉丘高校第20期会

西川孝蔵、米尾守人

事務局(会員の転居等の連絡は下記までお願いします。)

〒920 3104 金沢市八田町東84番地

TEL.076 258 5490(自宅) TEL.076 225 1463(県環境政策課)

E-mail kouzou@knz.fitweb.or.jp 西川 孝蔵

## ごあいさつ

金沢泉丘高校校長 上田政憲

昨年4月、県下有数の古い歴史と輝かしい伝統を誇る金沢泉丘高校に校長として勤めさせていただくことになりました。平成13年の徳田校長、14年の新村校長に教頭としてお仕えしお世話になりました本校に、そのご恩返しができる機会を与えられ、身に余る光栄と緊張するとともに、責任と使命の重さを日々痛感しながら、ようやく一年が過ぎようとしております。

創立以来110年を越える伝統校として、県内外で活躍される同窓生の方々ばかりでなく、広く石川県民の皆様からも大きな期待と有形無形のご支援をいただいている本

校であります。勤務できる栄誉と喜びをかみしめながら、教職員一同心を一つにして、これまで諸先輩が築き上げてこられた「心身一如」の校風の下、文武両道にバランスがとれ、次世代を担い世界に活躍できるリーダーとして自ら考え、自ら決断し実行できる若者の育成に励んでいます。

本校が、歴史ある伝統校として信頼され、生徒も教職員も生き生きとして学び勤められる、県下で一番魅力にあふれる学校として永遠に存在し続けるため、微力ながら誠心誠意努力してまいります。これからもご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



### 活躍する後輩たち

吉國さんに文科大臣奨励賞

日本漢字能力検定協会の平成15年度の成績優秀者表彰(16年4月)で、準2級最高賞の文部科学大臣奨励賞に泉丘高1年生の吉國桜さんが選ばれた。

吉國さんは15年11月に受けた同検定準2級で200満点中198点を取り、この検定を受けた15万人からただ一人最高賞に輝いた。

中部合唱コンで金賞

9月25日、名古屋市で行われた第57回中部合唱コンクール高校Bの部に出場した泉丘高合唱部は、金賞を獲得した。

県高校新聞コンで最優秀賞

10月に開催された第53回石川県高校新聞コンクールで、泉丘高の「いずみの原」が最優秀賞に選ばれた。3年連続の受賞で今年7月、全国高校総合文化祭青森大会の新聞部門参加校に推薦された。

江戸時代の写真術再現で大賞

高校生の科学技術研究コンテスト「第2回ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ」(16年11月)で、泉丘高化学部の共同研究「銀のリサイクルと江戸時代の写

### パソコン甲子園、日本一

11月7日、福島県で開かれた第2回全国高校パソコンコンクール(愛称パソコン甲子園)に出場した泉丘高校の3人組が、プログラミング技術部門で見



事グランプリに輝いた。

2年生の尾崎順一、中村翔太、斉藤学君=写真左から=の3人で、制限時間の4時間内にプログラムを作り、高度な数学的問題を解いた。また、コンピュータ部顧問の土屋正道教諭が、石川県教委の平成16年度優良部活指導者知事表彰を受けた。

真術の再現」が朝日新聞大賞に選ばれた。

受賞したのは3年生の小林秀成、2年生の前野清太郎、西澤尚平君。化学部の先輩が発案した研究を引き継ぎ、化学実験の廃液や廃棄物から銀を取り出し、写真に再利用する方法をまとめた。江戸時代末期の解説書を解説、箱形カメラを再現、撮影までこぎつけた。

寺尾さん、読書感想文で優良賞

第50回青少年読書感想文全国コンクールで2年生の寺尾侑子さんが、全国学校図書館協議会長賞に選ばれた。

寺尾さんは室生犀星の本を読み、「私の中の眼覚めたもの」と題して、共感できる内容をつづった。

## 燃料電池やバクテリア実験

SSHの研究、英語交え発表

平成15年度から文部科学省の「スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)」に指定



された泉丘高校は、先進的な科学学習に取り組んでいる。大学教授らを講師に招いた授業や、生命と科学の関係を学ぶ科目に加え、大学や研究所を回る研修ツアーも行き、科学への興味を高めている。

2年目の16年度の主な取り組みを紹介しよう。8月21日、同じくSSH指定高の高志高校(福井市)で両校の理数科1年生70人が、研修交流会を行った。泉丘は物理で多色光源装置を製作、生物では細胞融合の実験をした。また、12月16日には泉丘高校で研究発表会を行い、県内外のSSH指定校関係者ら約40人に独創的な取り組みの成果を紹介した。理数科2年生は4月から総合学習の時間に進めてきた、高性能の燃料電池づくりやバクテリアが生み出す色素の分析などの研究結果を英語を交えて発表した。1年生の「人間科学」では「人間は遺伝子の乗り物にすぎないのか」のテーマで熱い議論を交わした。

泉丘高校は、県教委の「スーパー・サイエンス・ハイスクール」にも指定されている。

## 野球部の「夢」...無念!

42年ぶりの甲子園お預け

泉丘高校野球部は、今春の第77回選抜高校野球の「21世紀枠」候補校に選出され、「42年ぶりの甲子園出場か」と、在校生はじめ一泉同窓生全体に夢がふくらんだ。朗報は届かなかったがナインは「夢の達成は夏に」と誓いを新たにした。

選抜の出場資格には勝ち上がり組のほかに「21世紀枠」がある。県予選8位以内で特色を持った学校が、全国9地区から1校ずつ候補校に選ばれ、うち2校が本大会出場となる。

昨秋の泉丘は北信越大会の県予選で高浜、航空二、辰巳丘、桜丘、小松商を次々と破り、決勝で遊学館に6-7で惜敗した。北信越大会では1回戦で不二越工(富山)に敗れたものの、11月の1年生大会、昨夏の大会とも4強に入る活躍ぶり。

文武両道で21世紀枠候補となった泉丘は高松、佐賀西と共に前評判が高かった。発表の

あった今年1月31日。母校には山本道生野球部OB会長(一中54期)をはじめ、同窓生や父兄の多くがかけつけた。午後3時すぎに県高野連から入った無念の報は、上田政憲校長から講堂に集まった41人の部員に伝えられた。

報道によると、選ばれた一迫商(宮城)は過疎地で地域の支援を得ながら部活動をしている点が評価され、残る1校には昨夏の台風被害の際に部員が復旧ボランティア活動をした高松が、その点を評価されて選ばれた。

なお、42年前(昭和38年)の夏の甲子園出場は、16期卒業生中心のチームで、1回戦0-2で和歌山南部商に惜敗した。



## 優勝をめざして

平成15年度通信制卒業 通善智恵子

陸上競技部での活動は、私の泉丘通信での学校生活を有意義なものにしてくれました。

走ることが好きだった私は、14年度の全国高校定時制通信制陸上競技大会の3000Mに出場し、7位に入賞しました。しかし、嬉しさよりも悔しさが残ったレースでした。残り1000Mで大きくタイムを落とし、最後の一周では2人に抜かれてしまったからです。

最終学年の1昨年、私は優勝を目標に練習を続けました。8月、1年ぶ



りの国立競技場はとてもなつかしく感じられました。レース直前、顧問の先生から「通善は仕事をしながら本当に良く練習したな。暑さや他の選手より、自分に負けるな」と励まされ、自分の力を最後まで出し切ろうと思いました。結果は前年より50秒短縮しての優勝でした。

その時私は、優勝という結果より大事なものを学びました。それはやる前から駄目だろうとあきらめなかったことです。私にもこんな可能性があったのかという自信を得ることができ、一番の宝物になりました。

学業も頑張り、昨春3月の卒業式では同窓会から栄えある「一泉賞」を贈られました。私はいま、トップでゴールした時の感激と一泉賞受賞を誇りに、専門店でケーキ作りに励んでいます。将来はお菓子の店を持ちたいという夢の実現をめざし、頑張っています。

## もう一人の人命救助者

### 70年前の遭難事件の真実

昭和初期、大正デモクラシーの自由主義的な社会風潮が全体主義に転換する中、教育体制も変化し、金沢一中でも制服改革、授業・補習強化、教員入れ替え、行事削減などが矢継ぎ早に打ち出され、生徒の不満が爆発。昭和8年4月、斉藤大六教諭の退職を契機にストライキが打たれた。結果は伊藤允美校長の退職、5年生5人が退学となった。以下は当時の学生たちが70年前に人命救助に係わった「真実」の話である。

スキー距離で3人凍死、1人救助

昭和8年1月29日、鶴来町で石川県スキー競技史上空前の大事件が起きた。近県スキー大会18キロ少年長距離レース開始直後に天候が急変、猛吹雪になり二中1人、市工2人の出場3選手が凍死、金商の1人が救助された。

金沢一中の選手は園部昌清、長瀬武、張江武の3人、他に仲のよかった平石英雄とスキー好きの山口社義（旧姓下村）=いずれも一中41期=が応援に行っていた。レース途中で何か事件が起こったらしい - と騒ぎ始め、山

の方から「オーイ、オーイ」と呼ぶ声が聞こえて来た。

自分の衣類着せて凍死防ぐ

山口はゴールから逆コースで声のする方へ登り、2キロほど行った杉林の中で人を呼んでいる園部に会った。彼が指さす50メートル先に、小学校同窓の金商の林忠男選手が倒れていた。林は凍死寸前だったが、山口は自分の衣類を林に着せるなどして、あとを救助隊に託した。

翌日の新聞には園部選手の事が大きく報ぜられた。「競技を放棄して凍死寸前の選手を人命救助」「一中の園部選手の美学」「之ぞ選手の模範」 - 。

レースを放棄して救助を求めた園部の行為は確かに立派だったが、自分の衣類を着せて4人目の凍死者を防いだ山口も立派。しかし、静かに現場を立ち去った山口について報道関係者が知るよしもなかった。

あれから70余年、もう一人の美談が明るみに出たのは一中41期生間で延々と続いて来た文通からである。当時新聞記者だった次兄から資料集めを頼まれた平石が、スキー場にいた山口に手助けを求め、山口が平石に送った手紙で「真実」が語られたのである。

## 平成16年度一泉文庫寄贈・購入本

書名	著者	購入・寄贈者
歴史としての生命	村瀬雅俊(泉丘28期)	購入
ドイツ社会民主党と地方の論理	鍋谷郁太郎(泉丘27期)	購入
サオウライ・チェーン・ロジスティクスの理論と実際	荒木 勉(泉丘22期)	購入
地球環境問題の政治経済学	寺西俊一(泉丘21期)	購入
地域社会の構造と変容	寺西俊一(泉丘21期)編	購入
環境経済学	寺西俊一(泉丘21期)共著	購入
地球時代の自治体環境政策	寺西俊一(泉丘21期)編・共著	購入
情報処理テキストシリーズ経営科学	荒木 勉(泉丘22期)	購入
私の「太平洋戦争参戦史」	大屋信之(一中47期)	大屋信之(一中47期)
20世紀の肖像	浅香年木(教職員)監修	浅香以都子(泉丘10期)
金沢歴史のまちしるべ案内	坂野雄一(碑文字書一中54期)	小林弘子(泉丘12期)
根の国へ - 詩集	高橋協子(泉丘8期)	高橋協子(泉丘8期)
夢見月 - 詩・エッセイ集	高橋協子(泉丘8期)	高橋協子(泉丘8期)
メビウスの森 - 詩集	高橋協子(泉丘8期)	高橋協子(泉丘8期)
ゆるる - 歌集	高橋協子(泉丘8期)	高橋協子(泉丘8期)
童夢 - 歌集	高橋協子(泉丘8期)	高橋協子(泉丘8期)
わが森の千夜一夜 - 歌集	高橋協子(泉丘8期)	高橋協子(泉丘8期)
六花乱舞 - 歌集	高橋協子(泉丘8期)	高橋協子(泉丘8期)
卒業40周年に寄せる - 記念文集	泉丘三六会(泉丘13期)	泉丘三六回(泉丘13期)
東西囲碁見聞録	田口功一(泉丘13期)	田口功一(泉丘13期)
刈谷敢闘期 2冊	金沢一中五十二期生	金沢一中五十二期生
センター試験必出数学公式180	辻 良平(一中54期)	購入
センター試験必出数学公式180新課程	辻 良平(一中54期)	辻 良平(一中54期)
基礎からよくわかる数学B	辻 良平(一中54期)	購入
応用ベクトル解析 廣川数学シリーズ	辻 良平(一中54期)	辻 良平(一中54期)
関数論講義	辻 良平(一中54期)	辻 良平(一中54期)
複素関数論 理学選書 M3	辻 良平(一中54期)	辻 良平(一中54期)
新版 ゲーデル	竹内外史(一中50期)	購入
解析幾何学	本部 均(一中32期)	購入
新しい代数	本部 均(一中32期)	購入
受肉のキリスト 正・続	逢坂元吉郎(一中7期)	購入
PとVP計算量の根本問題	竹内外史(一中50期)	購入
証明論と計算量	竹内外史(一中50期)	購入
宮崎夢柳論	西田谷 洋(泉丘37期)	西田谷 洋(泉丘37期)
複素関数論 共著	辻 良平(一中54期)	購入
トポロジーと幾何学入門 訳書	赤 節也(一中51期)	購入
ACM チューリング賞講演集 訳書	赤 節也(一中51期)	購入
戦時下の母「大島静日記」	島 利栄子	大島政忠(一中54期・静子息)
図説ドイツ語の歴史	橘 好碩(泉丘12期)訳	購入
加賀藩医 江間三吉	小林弘子(泉丘12期)	小林弘子(泉丘12期)
寸想、寸想その2、寸想その3	上谷親夫(一中55期一高期)	上谷親夫(一中55期一高期)
軌跡	上谷親夫(一中55期一高期)	上谷親夫(一中55期一高期)
日本語学習者の文法習得	野田尚史(泉丘26期)	野田尚史(泉丘26期)
日本語を話すトレーニング	野田尚史(泉丘26期)	野田尚史(泉丘26期)
日本語を書くトレーニング	野田尚史(泉丘26期)共著	購入
はじめての人の日本語文法	野田尚史(泉丘26期)	購入
日本語のとりたて	野田尚史(泉丘26期)編	購入

## OB 講演、後輩に熱く

平成16年度も各界で活躍する一泉OBたちが母校を訪れ、啓泉講堂で後輩たちに対し、人はいかに生きるべきかを語り、思索や探究のきっかけとなる意義深いものを与えた。

5月14日、科学技術ジャーナリストの喜多充成氏（泉丘35期）が全校生徒に「科学と技術の現場で見たモノ・触れた人」と題して講演した。喜多氏は「好きな道なら挑戦すべきだ。こうしたい、ああしたいと思い続け実践することが道を拓く」と訴えた。

9月9日には1年生を対象にした「社会人と語る会」がパネル・ディスカッション形式



喜多充成氏



成玖美氏



横川光司氏

で開かれた。パネラーは伴登宏行県立中央病院一般消化器外科診療部長（同30期）、村上啓太アルファ・スタッフ専務（同37期）、川岸宏樹 JR 西日本金沢支社総務企画課長代理



伴登宏行氏



村上啓太氏



川岸宏樹氏



穂島律子氏

（同40期）ハーブ奏者の穂島律子（同41期）の4氏。「21世紀を生きる君たちへ」と題し、それぞれ体験談を披露した。

11月2日には名古屋市立大の成玖美助教授（同42期）が1年生に対し、韓国への修学旅行と差別問題を兼ねて講演、12月10日にはお茶の水女子大大学院人間文化研究科の横川光司教授（同34期）が化学講義室で、理数科の1年生に「解の公式に見る対称性」と題して、SSHの授業にひと役買った。

## 二セ電話や名簿勧誘にご注意

...最近、同窓会事務局へ名簿等に関する相談電話がよくかかって来ます。一泉同窓会では当面、会員名簿を発行する予定がありません。従って事務局や学校の名前で改めて住所等を調べる必要がありません。詐欺まがいの名簿作成や先物取引、その他のセールスなどに対し、会員自身で十分注意されるようお願いいたします。また『変』だと思ったら、遠慮なく一泉同窓会事務局（電話・ファックスとも076-242-0211番）へお問い合わせください。

...これまで名簿作成については、ある出版社が盛んに勧誘のはがきを出しているようです。電話はOB現役大学生の実家へよくかかるようで、「同窓会事務局の だが」とか「学校の進路指導課の だが」と名乗り、「名簿を改訂するので娘さんの下宿先を知らせてください」というのが多いようです。

...一泉同窓会では平成15年の一泉創立110周年を記念して、会員名簿「一泉」（泉丘46期まで）を発行しました。まだ若干残っており、1部3500円（郵送なら4000円）でお分けしています。ご利用ください。

## 編集後記

どんなに多くの、どんなに有益な情報が掲載されていても、その情報が読まれなくては何の役にも立ちません。面白くて読まれる会報づくり...。「一泉」第32号は、そんな思いを実現するため、基本活字をこれまでよりちょっぴり大きくしました。一行の字数を減らし、一頁の行数も減らしてみました。そのため、同窓生諸氏から「編集室」に届いた報告は、若干短かめにして掲載させていただきました。また、遅れ気味だった発行日を、年度内に戻す努力もいたしました。ご意見と各地区、各期の活動報告をお寄せください。

「一泉」の題字が新しくなりました。これまで揮ごうしてくださった坂野雄一さん（一中54期）が一昨秋、逝去されましたので、新たに高川義一さん（同53期）にお願いしました。同窓会活動に積極的に参加される高川さんらしく、勢いのある題字となりました。

### 「一泉」編集室

正村健三（泉丘4期） 中山一朗（同10期）  
浅香以都子（同10期） 小林弘子（同12期）  
題字・高川義一（一中53期・泉丘2期）